

三郷市入退院支援ルールについて

※「令和5年度の活動方針」について、決議して頂きたいと思います。

1. 今までの経緯

入退院支援ルールは、病院への入退院時に医療介護関係者（主に病院とケアマネ）がスムーズに連携が取れるように、平成31年に協議会によって共通ルールとして策定、運用されました。

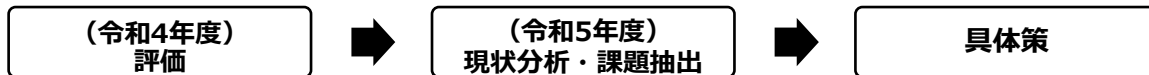
令和3年に行ったアンケートの結果から令和4年に評価を行い、医療介護関係者に周知されているが、実際の活用の割合が低いとされています。

2. 令和5年度の活動方針【案】

課題：どうしたら、活用を推進することができるか

【現状分析と課題抽出】

活用推進の為、解決すべき課題抽出を行うことにより、課題の原因、背景を探り、対策対象をより具体化させることが必要です。



【活動案】

- ◆病院側と事業所で要求を摺り合わせ、出来る限り理想に近づけていく。
- ・医療介護関係者双方がどのような情報が欲しいのか、シートのどの情報が欲しいのか、どのような問題があるか、アンケートを取る等して分析する。

【実行案】課題の抽出方法

- ①協議会の各専門職代表委員からの現状とニーズの意見
- ②医療介護関係者からのアンケート

・委員からの意見だけでなく、より多くの課題抽出の為、アンケートを対象事業所に配り、集計を行いたいと考えます。

・（対象事業所）

病院・居宅介護支援事業所・小規模多機能型居宅介護事業所・訪問看護ステーション・

地域包括支援センター

- ・アンケートの作成とFAXまたは郵送での配布

3. 「入退院支援ルール」活用の為の課題検討方法

どうしたら活用してもらえるかについて、集計した課題を以下の3つに分類して考えていきます。

①ルール内容について課題

- ・現状を知り、ニーズに添うルールやシートの見直しと変更を行う事で活用しやすくする。

②使い方、運用についての課題（各事業所の運用の仕方）

- ・各事業所、関係者の使い方、運用方法を知り、ニーズに添う使い方、運用の見直しと変更を考える事で啓発やルールの変更等の対策を行い、活用しやすくする。

③ルール活用の啓発が足りていない

- ・現状を知り啓発が足りない所を洗い出し、啓発のポイントを明確にする事で啓発やルールの変更等の対策を行い、活用しやすくする

4

課題対策を考える上での参考資料

（協議会の各専門職代表委員からの現状とニーズの意見）

- ・入退院支援について各専門職委員の意見（令和4年第3回協議会から抜粋）
現状と欲しい情報を3つの課題分類にしました。 「別紙1」
- ・これだけでは情報不足と考えるので、今後も委員の方からご意見を賜りたく、また関係事業所からも広く意見を集めたいと考える。